



永瀬 和正

牛津町新町の水害は防げた のではないか

市長

しっかりと検証して、今後の対応に努める

永瀬 新町の水害（床上浸水5戸、床下浸水21戸）はなぜ発生したのか。

市長 国交省からの要請で牛津江排水機場の排水ポンプ（排水能力、毎秒50㎡）を停止したため。

永瀬 ポンプ停止時は、牛津川は氾濫危険水位を6cmオーバー。しかし、

目視では、堤防天端まで約2m近くあつたと聞く。

平成21年の大雨の時はポンプの停止はせず、排水能力を毎秒30㎡に絞って運転したため、新町は浸水しなかった。今年の7月6日は、①排水ポンプ停止（18時12分）以降、牛津川の水位は下がり続

けた。

②新町が浸水する20分前（18時30分）には牛津川は氾濫危険水位以下で、排水ポンプの再稼働は可能であった。

排水ポンプの絞り込み運転や再稼働を要請していれば、新町の浸水被害は発生していない。

市長 今回のことを振り返りながら、連絡体制や



▲7月6日に床上浸水等が発生した牛津町新町地区

なすべきことをしっかりと検証して、対応できるようにしていきたい。

その他の質問

- 嘉瀬川流域の水防活動
- 小城市山崎排水機場周辺の水害対策
- 牛津町前満江地区の用排水路と施設の整備
- 牛津地区市街地活性化推進事業について



香月チエミ

児童虐待防止に 親の孤立化を防げ

市長

関係機関が連携してしっかりと取り組んでいる

香月 虐待にはさまざまな要因が絡み支援が必要。①相談対応の件数は、②種別、虐待者、経路は、

福祉部長 ①昨年度児童相談の実数131件中、虐待相談41件、30・6%。

②内容別では最多が、育児放棄等の※ネグレクト。虐待者は実母が41件中32件で最多。経路は小、中学校等学校関係に続いて家族、親族からの相談。

香月 保護者の孤立化を防ぐための身近な支援策は。また、リスクの高い家庭の見きわめは。

福祉部長 まず乳児家庭全戸訪問事業で育児不安

の解消に努め、さらに養育支援訪問事業につなげる。乳幼児健診等未受診者には必ず連絡し、子どもの安全確認をする。要保護児童対策地域協議会やケース会議を重ねて判断する。

香月 家庭相談員は嘱託で最長5年の雇用期限がある。信頼関係など切れ目のない支援を継続するため、延長はできないか。

福祉部長 引き継ぎを十分に行い、業務に支障がないよう努めたい。

の解消に努め、さらに養育支援訪問事業につなげる。乳幼児健診等未受診者には必ず連絡し、子どもの安全確認をする。要保護児童対策地域協議会やケース会議を重ねて判断する。

その他の質問

- 幼児教育・保育の無償化
- 三日月町於保踏切の安全対策について

※ネグレクト：十分な食事を与えない、長期間入浴や着替えをさせないなどの育児放棄



▲育児相談や情報交換等ができる子育てひろば 児童センター「ゆうゆう」



前田 博己

小城市行政改革についての方針は

市長 AIやIoTが業務の効率化に生かされる

前田 民間では導入が進んでいるが、庁内のインターネットセキュリティ環境整備やRPA「ロボティクス・プロセス・オートメーション」などの導入による業務の効率化施策が必要と考えるが市長の考えは。

前田 平成30年7月豪雨では小城市においても大きな被害が出たが災害発生時の状況把握と被災者支援体制をドローンなどの先進技術を活用し再構築が必要では。

防災対策課長

近年、ドローン導入による取り組みが注目されている。防災対策としてドローンの整備を計画している。

市長 これからは職員の数が増えつつある中で、効率化を求めていくためには、RPAやロボットによる業務の自動化等が導入されていく。8月にこの分野の職員研修も実施した。まずは、勉強会、研修会そういったところから入っていききたい。

その他の質問

- 災害時の情報収集について
- 災害時の避難体制について
- 地域IoT実装推進について



▲防災にも活躍が期待されるドローン



岸川 英樹

修繕等が出ている排水機場の対応

市長 国、県管理は国費、県費で。鉦害復旧施設は基金で

岸川 建設から46年経過し、排水機場及び排水路の整備にどう対応する。

先、水路整備については、クリークを活用している関係の事業を優先して対応していただくのが基本。市の環境整備事業も、該当しないものは、農業基盤整備事業、県営事業もいろいろメニュー等もあると思う。国、県へ通達をしていきたいと考える。

市民部長 500円を個人の県民税の中に加算している。約年間1,000万円を納めている。

市長 市内に現在21の排水機場があり、地区の皆さん方に操作委託して稼働をお願いし、国、県費での維持管理となり、市管理の鉦害復旧施設は基金で、排水機場周辺の水路は、各種補助事業を活用し管理や整備を行っている。

岸川 鉦害復旧施設基金は排水機場の修理には適するが、排水路には該当しないとの答弁なのか。

市長 基金はポンプの維持管理、更新等が最優先

岸川 森林、林業振興策について、平成20年度から導入された森林環境税は、市ではいくら納税し支援事業を行っているのか。



▲7月豪雨による法面崩壊



中島 正樹

交通事故対策の必要性を
考える

市長

今後、基準に沿って対応して
いく

中島 市内における事故多発路線の安全対策について現状と課題は。

については、原因など考察し警察の協力を仰ぎながら交通事故対策を講じていきたい。

市長 安全対策として、国道との交差点において

中島 佐賀県道路交通環境安全推進連絡協議会で

情報連携を密に図り対応したい。また、市の管理する道路での多発箇所

承認されたガイドラインに基づき整備計画を進める考えは。

建設部長 承認はされているが公表はされていない。今後、ガイドライン

が示された場合、市もその基準に沿って対応していく。

中島 プロポーザル方式の導入の経緯、経過と考
え方は。

総務部長 近年、市が発

注する業務の中で企画提案を受ける案件が多くなっている。従来、内容や質等が具体的に特定される案件は入札を実施していた。プロポーザル方式は市精算の価格競争でなく、様々の内容において有用な手法と考える。



▲事故が多発している小城町畑田交差点



赤松 貴子

エアコンの早期着工で
子どもたちに良い環境を

教育長

一日でも早い設置の対応を
考えている

赤松 エアコンを来年7月に稼働できるように早期着工を。

教育長 特別な工事のため、業者と協議しながら一日でも早い設置の対応を考えている。

赤松 今後、県内外から

観光客が来られる事業を数多く控えている中で、まずはトイレなどの基本的な環境整備はどうなっているのか。

産業部長 安全性及び防

犯上の問題から順次解体工事をして

いるところもある

が、観光地にとって大事なことなので「まちの駅ネットワーク」と観光の連携を強め、観光客に満足してもらえる観光施策を実施していく。

赤松 未来ある若

者が多く利用する

駅前周辺。なかなか進まない空き家の有効活用は

(牛津駅、小城駅どちらも)。

市長 商工会議所、また

は小城市商工会等との連携をとることにより官民連携の取り組みを推進していく。

赤松 1次産業、また地

域産業の活性化のため、各所連携して展示会などさらに足を運ぶ努力をすべきでは。

産業部長 農商工連携・

6次産業化支援補助を行っているところで形になってきている。



▲急がれる空調設備



松並 陽一

牛津の市街地活性化への 意気込みは

市長

財政的な課題もあり、庁内で検討しながら進める

松並 牛津拠点地区市街地活性化推進事業について、「事業方針の変更」とは。

松並 昨年度に計画を策定する時点で、両事業とも十数億円かかることぐらい予想できたのでは。

宅の可能性調査費1,500万円の執行状況は。

谷田 平成24年死者30名、平成29年死者40名を超える九州北部豪雨災害発生について市長の考えは。

況は。

産業部長 小城市の山林は、国や県の事業で約300基の治山ダムが建設されている。29年度、30年度に1か所、31年度に尖尾川とがおの下に治山ダムを

が発令された場合、水防、防災体制を整え、昼夜を問わず防災行政無線を用い注意喚起を行い、災害情報等配信サービス登録いただいた方には固定、携帯電話、ファクス、メールでお知らせしている。

建設部長 市の財政への影響と事業効果を踏まえて、方針の変更も含めて検討している。

都市計画課長 子育て支援住宅については用地の確保や面積が未定のため記載できなかった。

都市計画課長 国の先導的官民連携支援事業への採択を見越し予算化したのが、1次募集、2次募集ともに採択されなかった。

市長 想像を超える濁流が流木と共に住宅、田畑等を飲み込む災害が発生した。小城市でもあり得るということを常に念頭に置いて防災計画やタイムラインなどを見直すなど、対策や組織の連携強化を図っていく。

谷田 大雨特別警報、異常が日常になりつつある中、どうすれば市民の命を守るのか。

総務部長 大雨警報等

松並 牛津駅周辺整備の規模を縮小するかもしれないことの理由は、子育て支援集合住宅にかかる費用が大きくなるのが理由か。

松並 子育て支援集合住宅

○避難勧告等の伝達方法

都市計画課長 十数億円の規模の事業を同時に進めることは難しいと、庁内でも意見が出ている。



▲にぎわいの拠点となる牛津赤れんが館

谷田 九州北部豪雨の特徴は、1時間に110〜120ミリを超える猛烈な雨が降り表土層と樹木が崩れる表層崩壊が発生した。小城市の山林の状

総務部長 大雨警報等



▲守りたい命のために、未来のために対応力を

りたい方は、会議録が各町図書館にありますのでご覧下さい。議録の設置及びホームページ掲載は11月末の予定です。



富永 正樹

小城市名誉市民条例制定の考えは

市長

候補者が出てこられた際に
条例制定に着手したい

富永 条例の目的は、大

体「広く社会文化の発展に著しく貢献した者の功績と栄誉をたたえ、市民の敬慕の情を表すとともに、広く社会文化の振興発展に資すること」と唱えられ、「当該市に縁故の深い者で、広く産業、経済、学術、文化その他

現在活躍

例の制定をまずしていた
だき社会貢献、市政発展に
尽くされた過去の多くの
関係者などを洗い出し、
梧竹の顕彰に多大な
貢献をされた方々も含め
て名誉市民候補者の検討
をしたらどうか。

されている

てはどうか。
市長 条例の基準として
相当な功績があるか選考
委員会等で諮って、候補
者が出てきた際に制定に
着手すべきだと考える。

地方自治の振興に顕著な
貢献をし、広く市民の尊
敬的となつて居る者に
対し、名誉市民の称号及
び名誉市民章を贈る」と
いう内容である。
茨城県筑西市は、「名
誉市民の称号及び名誉市
民章は、死去した者に対
しても追贈することがで
きる」と追贈にまで踏み
込んでいる。小城市も条

方、過去に
素晴らしい
業績を残さ
れた方が、
芦刈、牛津、
三日月、小
城に多くお
られる。そ
のような業
績を紹介し
ながら認定
に結びつけ



▲小城偉人コーナー



西 正博

市内学校のブロック塀等の危険性は

教育長

特に危険な塀はなかったが
1か所を改修した

西 6月に発生した大

阪北部地震で震度6の揺れにより学校施設のブロック塀が倒れ小学生が亡くなられた事故を受け、文部科学省から安全点検の指示がなされたこと認識しているが、調査結果と措置内容は。

教育長 地域や学校が

セーフティネット会議等で危険箇所の把握や情報を共有し安全を確保する。

建設部長・教育部長 橋

は2t車以上の通行規制をしている。公園は、植栽の剪定に配慮し、トイレも安全面の確保を工夫する。

西 市内で不安な箇所の指摘があり、市の考え

を伺いたい。
1か所目は、
小城町畑田の
老朽化した安心橋につい
て。次に三日
月町の土生遺跡公園のトイ
シの不安と北
面の植樹が高
い点と中が見
えにくい点を
改善すべきと
考えるが。

西 防犯上も含め、登

下校中の安全点検の通知も出されていると思うが。



▲土生遺跡公園 北側駐車場の生垣



深川 高志

大雨災害に対する 危機管理体制は

市長

初動態勢が重要。早い判断、
決断が首長の責務

深川 7月6日に佐賀県

で初めて大雨特別警報が発表され、多くの市民が不安を感じた日であった。午後6時10分には砥川大橋で氾濫危険水位を越え、ポンプ停止が要請され、牛津江川が越水し、家屋等にも被害が出た。

平成25年に完成した牟田辺遊水地の可動堰型越流堤は中規模洪水に対して効果を発揮できる。牛津川全川にわたって計画高水位を下回る流下能力を確保することが可能と言われていたが、今回の大雨で砥川大橋で計画高水位を越え、ポンプ停止となり、被害が出た。市長の現状認識と危機管理体制のあり方は。

市長

危機管理として、初動態勢が一番重要である。判断の遅れが命取りになる場合もある。命を守ることを最優先として全ての判断を行うべきだと思う。

ポンプ停止については、一斉停止をせず、一部調整できればとの指摘もあるが、牛津川本流が決壊しないことの大前提でポンプ

停止が発令される。国と

基礎自治体との連携等をしっかりととりながら、対応すべきと思っている。今回のことを検証し、対応を今後もとっていく。



▲洪水調整機能を有する牟田辺可動堰型越流堤（多久市）



諸泉 定次

施設管理で 何故ランク付けしない

市長

施設管理が見え始め
取捨選択を認識している

諸泉 平成29年小城市公

共施設等総合管理計画で、各施設で整理統合すべきランク付けをしているのか。

財政課長 公共施設の適

正な配置の実施のため、総務省の要請で策定した。箱物の建築物と道路・公園・下水道施設などインフラの2つに大別して整理した。建築物は、床面積約16万4千㎡以上で設定し、今後25年間に更新を迎える施設を中心に縮小・複合化・民間活動の実現で床面積の5%縮小を見込んでいる。ランク付けは行っていない。

諸泉 この計画は今後25

年間で全体保有量の5%

削減・更新費用約25億円縮減のみで、どこをどうするとした具体的な施設のランク付けがない。国の財政切り詰めがある中で、整理統合のランク付けをしないで、問題の先送りなのか。

市長 施設の

統廃合がある程度見えてきている。同規模の自治体との比較検討もできる。取捨選択のできる部分はみんな認識している。

その他の質問

- 子どもの貧困対策
- 保育園・幼稚園の民営化計画
- 市民に愛される市民病院



▲4町にある保健福祉センター。維持費が大変



江島佐知子

学校空調整備は 来年夏までに

市長

議会、学校、保護者、業者等の協力が必要

江島 小中学校空調の整備は来年9月稼働の計画になっているが、7月から使えるようにはできないか。

①業者との契約が12月議会後になっているが、臨時議会を開いてでも前倒しできないか。

②計画では主たる工事期間が夏休み中になっている。一括契約のメリットを生かし土日、春休み、ゴールデンウィーク等学校休業日を活用できないか。

定していない。業者決定後協議をしていく。
①業者選定、仮契約がないかと考える。
②学校や業者の協力が必要。業者決定次第、協議しながら進めていく。
③相当な設備が必要になる。他市の事例を参考にしながら検討する。

創業支援、企業誘致 で産業基盤整備

江島 長期的展望から創業支援や企業誘致は重要。

市長 官民一体となり、県とも連携して努力していく。

▲小学校授業風景



教育長 なるべく早く設置したいと思うはあるが、業者が決

災害時の避難所でもある。空調整備が必要ではないか。

③学校体育館は授業クラブや社会体育にも活用されているし、

光岡 自然災害に対する情報のあり方と、市民の心構えは。

市長 災害の発生が差し迫り、避難が必要になった場合、市は避難勧告や避難指示を発令。その前に災害が発生するおそれがある場合は、早めの対策として自主避難所を開設する。

市民の皆さんは、テレビ等で気象情報を確認し、市の防災行政無線や防災メールで発信された時は、命を守るための安全対策・行動が必要であるという認識をもち、それぞれの個人・家族・地域が、防災に対する意識を高め、早め早めの行動



光岡 実

自然災害に対する情報のあり方は

市長

避難勧告、避難指示の前に自主避難所を開設

が必要である。

森林行政について

光岡 森林経営管理法がこの5月に成立し、来年4月より施行される

が、これに関連して今後の小城市の森林整備は。

産業部長

この法が成立し新たな森林管理システムが構築され、小城市も今

後取り組んでいく予定だが、まだ国より詳細な情報が来ていないので、模索している現状。
いずれにせよ、この森林経営管理法については取り組んでいく。



▲7月豪雨による土砂災害



上瀧 政登

ごみ焼却場完成後の 市民の対応は

市長

混乱がないように万全を期す

上瀧 平成32年4月を目標に、小城・多久の共同によるごみ焼却場の稼働により市民の対応に変化はあるのか。

市長 可燃物は今まで通りの処理方法で小型の収集車が各地区を回り多久

市の焼却場へ運ぶ。それに伴いより時間がかかるので増車をする。唐津市まで運んでいる現在の大型パッカー車は不要になる。事業所ごみは牛津の集積所が閉鎖するので多久市まで運んでいたきたい。不燃物の取り扱いは金物、ビン類等は今まで通り地区のコンテナに出していただき、資源物については市内3か所で行っているが継続して処理する。

の処理方法で小型の収集車が各地区を回り多久



▲建設が進むごみ焼却場「クリーンヒル天山」(多久市)

水害対策について

上瀧 7月6日の夕方5時に、雨雲が南下している。だから確認したのか。

防災対策課長 夕方5時に雲が南下している状況は、確認していない。

その他の質問

○入札制度について



松尾 義幸

ふるさと納税の新たな 取扱い業者は

市長

新しく5業者を追加している

松尾 小城市観光協会について①役員体制は。②小城市観光振興計画が平成29年3月にできているが、その目指すものは。

③これからどういう観光分野に力を入れるのか。④市職員の職務に専念する義務の特例に関する条例に基づき、商工観光課長と観光協会事務局長の兼務の手続きは。

市長 ①平成29年度までは、会員の中から理事を選出していたが、30年度からは、会員の各種団体から選出された。

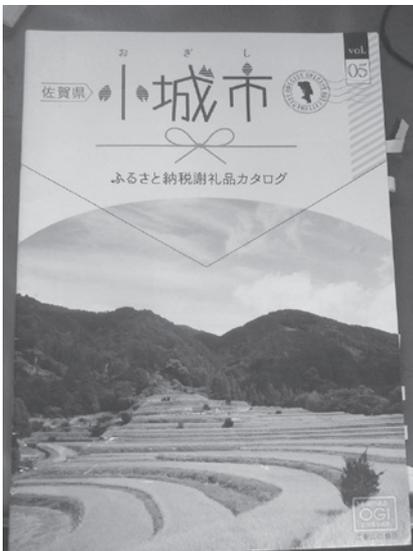
産業部長 ②観光協会によって策定された計画で、今後の活動の指針と

するもの。③観光スポット・イベントのPR・観光資源の磨き上げ、関係団体との連携で、3つの基本事業にもとづいて進める。④条例第2条、第2号、第3号該当で、平成27年度から29年度まで免除申請を行っています。

松尾 ふるさと納税のパッケージNo.5ができて

いるが、新しい取扱い業者は。また、株式会社弥川畜産は新しい取扱い業者ではないのか。

市長 株式会社弥川が屋号として「肉本舗小城」という形で提供されている。小城市に事務所を構えてからは税もすっかり納めていただいている。



▲新しいふるさと納税のパンプ



中尾 勝吉

高齢者の生きがいづくり
の促進とは

市長

外に出て、元気でいろいろな
人との交流を

中尾 小城市の循環・巡回バスや芦刈町乗合タクシー・小城やまびこタクシーは、巡回コースを集合の中へこまめな運行をし、また、運行回数を増やせないか。

総務部長 車の購入、運転手の確保、事業運営の問題等があり、小城市地域公共交通活性化協議会の中で協議する。

中尾 町なかに住んでいる人は、この循環・巡回バスや乗合・やまびこタクシーを利用できないでいるが、どうするのか。

総務部長 町なかにおける乗合タクシー等について



▲市内を回っている循環・巡回バス

でも、今後、協議会で協議する。

中尾 やまびこ・乗合タクシーは、市外までの運行はできないか。

総合戦略課長 この乗合やまびこタクシーは、小

城市内の路線だけ利用になる。

その他の質問

○小城市芦刈漁港の濁泥の浚渫について

○土地改良事業による水田暗渠排水工事について

意見書

(第2号) 地方自治法第99条の規定により提出することを可決した。

(第2号) 下水道施設の改築への国費支援の継続に関する意見書 (可決・全員賛成)

(第3号) 地方財政の充実・強化を求める意見書 (可決・全員賛成)

人権擁護委員の推薦

(第1号) 欠員が生じたため後任の委員に相浦守夫氏(三日月町)を適任と認めることに決定した。



もり お 守夫 氏
あいうら 相浦 氏

(第2号) 平成30年12月31日をもって任期満了となるため、後任の委員に松尾節子氏(牛津町)を適任と認めることに決定した。



まつ お せつこ 松尾 節子 氏

(第3号) 平成30年12月31日をもって任期満了となるため、後任の委員に南里ひろ子氏(芦刈町)を適任と認めることに決定した。



なん り 南里ひろ子 氏

(第4号) 欠員が生じたため後任の委員に原田保則氏(牛津町)を適任と認めることに決定した。



はら だ やすのり 原田 保則 氏

平成30年 決算審査特別委員会

委員長 深川高志 議員	中島正樹 議員	堤克彦 議員
副委員長 香月千工ミ 議員	江島佐知子 議員	永淵和正 議員
諸泉定次 議員	松並陽一 議員	岸川英樹 議員